

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 四国財務局長

**【提出日】** 平成24年10月10日

**【四半期会計期間】** 第53期第2四半期(自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)

**【会社名】** 株式会社マルヨシセンター

**【英訳名】** Maruyoshi Center Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役会長兼社長 佐竹文彰

**【本店の所在の場所】** 香川県高松市南新町4番地の6

**【電話番号】** (087)831 9191

**【事務連絡者氏名】** 執行役員総合企画部マネジャー 竹垣 亘

**【最寄りの連絡場所】** 香川県高松市国分寺町国分367番地1

**【電話番号】** (087)874 5511

**【事務連絡者氏名】** 執行役員総合企画部マネジャー 竹垣 亘

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第52期 第2四半期 連結累計期間		第53期 第2四半期 連結累計期間		第52期	
		自 至	平成23年3月1日 平成23年8月31日	自 至	平成24年3月1日 平成24年8月31日	自 至	平成23年3月1日 平成24年2月29日
売上高	(千円)		20,333,158		20,084,332		39,969,627
経常利益	(千円)		168,389		173,276		376,813
四半期(当期)純利益	(千円)		44,004		77,327		25,906
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		41,366		48,675		37,843
純資産額	(千円)		2,660,936		2,677,648		2,657,219
総資産額	(千円)		20,666,598		20,466,393		19,793,129
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		5.29		9.38		3.13
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		12.9		13.1		13.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		1,259,606		1,038,183		1,161,452
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		545,040		552,003		299,518
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		497,105		125,616		872,752
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		751,725		884,008		523,445

回次		第52期 第2四半期 連結会計期間		第53期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年6月1日 平成23年8月31日	自 至	平成24年6月1日 平成24年8月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		2.63		5.99

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため、記載しておりません。

4. 第52期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景とした回復基調にあり、一部に景気持ち直しの動きがみられるものの、依然として欧州債務危機問題、国内の電力問題や長期化する円高の懸念もあり、全般的に足踏み状態が続きました。

当スーパーマーケット業界におきましても、新たな競合案件は減少しているものの、個人消費につきましては、消費税引き上げ法案が可決されたこともあり、消費者の生活防衛意識の一層の高まりや、デフレ傾向は解消せず、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中、当社は、引き続き季節の旬の商品や当社独自商品の展開、顧客への販売提案を強化してまいりました。また、店舗オペレーションコストの低減についても、継続して取り組んでおります。

このような取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は200億84百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益は3億22百万円(前年同期比4.1%増)、経常利益は1億73百万円(前年同期比2.9%増)、四半期純利益は77百万円(前年同期比75.7%増)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

##### (資産)

流動資産は、現金及び預金が8億23百万円増加したことなどにより、前期末に比べ8億92百万円増加し、40億2千万円となりました。

有形固定資産は、前期末に比べ1億96百万円減少の137億77百万円、無形固定資産は前期末と横這いの5億3百万円となりました。

投資その他の資産は投資有価証券が14百万円、差入保証金が1千万円減少したことなどにより、前期末に比べ2千万円減少の21億54百万円となりました。

繰延資産は、前期末に比べ2百万円減少し、1千万円となりました。

##### (負債)

負債は、前期末に比べ6億52百万円増加し、177億88百万円となりました。その主な内訳は、買掛金が5億43百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は、その他有価証券評価差額金のマイナスが28百万円増加した一方、利益剰余金が52百万円増加したことなどにより、前期末に比べ2千万円増加の26億77百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の増減については、営業活動により10億38百万円増加いたしました。投資活動により5億52百万円、財務活動により1億25百万円減少いたしました。この結果、四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ3億6千万円増加し、8億84百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、10億38百万円(前年同期比17.6%減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が1億69百万円、キャッシュ・アウトを伴わない減価償却費3億52百万円、仕入債務の増加5億43百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、5億52百万円(前年同期比1.3%増)となりました。これは主に定期預金の増加4億63百万円、有形固定資産及び無形固定資産の取得73百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、1億25百万円(前年同期比74.7%減)となりました。これは主に、長期、短期を合わせた借入金の減少23百万円、社債の償還による支出5千万円、リース債務の返済による支出28百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,750,000
計	21,750,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年10月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,749,990	8,749,990	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株であります。
計	8,749,990	8,749,990		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年8月31日		8,749,990		1,077,998		813,528

(6) 【大株主の状況】

平成24年 8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
佐竹文彰	香川県高松市	1,624	18.56
マルヨシセンター取引先持株会	香川県高松市国分寺町国分367番地 1	860	9.83
有限会社 佐竹興産	香川県高松市一宮町910番地32	499	5.70
マルヨシセンター従業員持株会	香川県高松市国分寺町国分367番地 1	468	5.35
株式会社 百十四銀行	香川県高松市亀井町 5 番地の 1	413	4.72
黒田泰弘	香川県高松市	404	4.62
株式会社 阿波銀行	徳島県徳島市西船場町 2 丁目24番地の 1	386	4.41
桑原洋夫	香川県高松市	202	2.31
佐竹睦子	香川県高松市	201	2.30
株式会社 損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿 1 丁目26番地の 1	150	1.71
計		5,207	59.51

(注) 当社が保有する自己株式は、460,550株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合5.26%)であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年 8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 460,000 (相互保有株式) 普通株式 94,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,194,000	8,194	
単元未満株式	普通株式 1,990		1 単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	8,749,990		
総株主の議決権		8,194	

(注) 1 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式550株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」の株式数欄及び議決権の数欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権 1 個)含まれております。

## 【自己株式等】

平成24年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社マルヨシセンター	香川県高松市南新町 4番地の6	460,000		460,000	5.26
(相互保有株式) 株式会社レックス	香川県綾歌郡綾川町 東分乙60-7	94,000		94,000	1.07
計		554,000		554,000	6.33

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年6月1日から平成24年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	682,445	1,506,008
売掛金	67,204	79,427
商品	1,960,801	2,005,482
繰延税金資産	109,178	98,406
その他	308,706	331,630
流動資産合計	3,128,337	4,020,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,450,679	16,461,951
減価償却累計額	10,494,516	10,722,459
建物及び構築物(純額)	5,956,162	5,739,491
機械装置及び運搬具	1,708,483	1,627,052
減価償却累計額	1,490,852	1,403,577
機械装置及び運搬具(純額)	217,630	223,474
工具、器具及び備品	2,545,571	2,580,168
減価償却累計額	2,226,872	2,261,019
工具、器具及び備品(純額)	318,698	319,149
土地	7,274,579	7,274,579
リース資産	263,045	303,725
減価償却累計額	55,898	83,101
リース資産(純額)	207,146	220,623
有形固定資産合計	13,974,218	13,777,319
無形固定資産	503,393	503,659
投資その他の資産		
投資有価証券	628,450	613,719
繰延税金資産	440,766	450,183
差入保証金	936,073	926,010
その他	169,295	164,442
投資その他の資産合計	2,174,586	2,154,356
固定資産合計	16,652,197	16,435,336
繰延資産		
社債発行費	12,593	10,102
繰延資産合計	12,593	10,102
資産合計	19,793,129	20,466,393

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,502,890	3,046,110
短期借入金	3,707,000	3,161,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	2,566,039	2,358,615
未払法人税等	145,858	103,446
賞与引当金	76,364	105,441
ポイント引当金	29,084	29,960
その他	739,416	903,873
流動負債合計	9,866,652	9,808,446
固定負債		
社債	400,000	350,000
長期借入金	5,564,766	6,295,143
退職給付引当金	837,985	855,197
役員退職慰労引当金	165,700	170,450
資産除去債務	77,390	80,299
その他	223,415	229,208
固定負債合計	7,269,257	7,980,298
負債合計	17,135,909	17,788,745
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	813,528	813,528
利益剰余金	986,392	1,038,852
自己株式	179,958	183,336
株主資本合計	2,697,961	2,747,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,509	69,327
繰延ヘッジ損益	232	65
その他の包括利益累計額合計	40,741	69,393
純資産合計	2,657,219	2,677,648
負債純資産合計	19,793,129	20,466,393

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	20,333,158	20,084,332
売上原価	15,492,681	15,282,254
売上総利益	4,840,477	4,802,078
営業収入	271,680	289,429
営業総利益	5,112,157	5,091,508
販売費及び一般管理費		
販売促進費	389,423	399,923
消耗品費	135,164	126,969
運賃	165,152	164,006
賃借料	59,618	43,086
地代家賃	443,270	439,967
修繕維持費	201,252	189,451
給料手当及び賞与	1,998,425	2,006,121
福利厚生費	245,642	241,032
賞与引当金繰入額	97,625	93,459
退職給付費用	52,377	49,758
役員退職慰労引当金繰入額	5,500	4,750
水道光熱費	438,661	440,270
減価償却費	275,000	279,214
その他	294,899	290,781
販売費及び一般管理費合計	4,802,014	4,768,792
営業利益	310,143	322,715
営業外収益		
受取利息	1,831	1,911
受取配当金	2,245	2,722
持分法による投資利益	9,404	-
受取保険金	825	2,880
補助金収入	5,489	-
受取手数料	1,707	3,539
その他	10,002	1,783
営業外収益合計	31,507	12,838
営業外費用		
支払利息	161,662	149,463
持分法による投資損失	-	1,396
その他	11,598	11,418
営業外費用合計	173,260	162,277
経常利益	168,389	173,276

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
特別損失		
固定資産除却損	4,841	4,169
会員権売却損	2,200	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27,816	-
特別損失合計	34,857	4,169
税金等調整前四半期純利益	133,531	169,106
法人税、住民税及び事業税	94,553	74,744
法人税等調整額	5,026	17,034
法人税等合計	89,527	91,778
少数株主損益調整前四半期純利益	44,004	77,327
四半期純利益	44,004	77,327

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	44,004	77,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,974	28,767
繰延ヘッジ損益	330	166
持分法適用会社に対する持分相当額	5	50
その他の包括利益合計	2,638	28,652
四半期包括利益	41,366	48,675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,366	48,675

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	133,531	169,106
減価償却費	348,456	352,097
有形固定資産除却損	4,841	2,841
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27,816	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	930	930
退職給付引当金の増減額(は減少)	12,168	17,211
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,500	4,750
受取利息及び受取配当金	4,077	4,634
支払利息	161,662	149,463
売上債権の増減額(は増加)	22,304	12,223
たな卸資産の増減額(は増加)	60,730	42,862
仕入債務の増減額(は減少)	563,391	543,219
未払金の増減額(は減少)	53,694	66,173
前受金の増減額(は減少)	51,636	4,949
未払消費税等の増減額(は減少)	43,105	11,107
その他	156,389	48,660
小計	1,494,199	1,300,893
利息及び配当金の受取額	3,863	4,466
利息の支払額	163,991	150,332
法人税等の支払額	74,465	116,843
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,259,606	1,038,183
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	602,000	612,000
定期預金の払戻による収入	130,000	149,000
有形固定資産の取得による支出	35,949	61,201
無形固定資産の取得による支出	13,447	11,840
差入保証金の差入による支出	908	789
差入保証金の回収による収入	17,592	10,852
投資有価証券の取得による支出	45,022	34,605
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,514	5,314
その他	1,180	3,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	545,040	552,003
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	490,000	546,000
長期借入れによる収入	1,450,000	1,917,000
長期借入金の返済による支出	1,390,898	1,394,047
社債の償還による支出	-	50,000
リース債務の返済による支出	12,958	28,131
自己株式の取得による支出	28,536	-
配当金の支払額	24,713	24,437
財務活動によるキャッシュ・フロー	497,105	125,616
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	217,461	360,562
現金及び現金同等物の期首残高	534,264	523,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	751,725	884,008

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
1 保証債務等 関連会社の金融機関からの借入金に対して次のとおり保証を行っております。 (株)レックス 286,530千円 また、西淡まちづくり(株)の中小企業高度化資金借入に係る当社取締役の兵庫県への連帯保証について次のとおり再保証をしております。 当社代表取締役 佐竹文彰 305,160千円	1 保証債務等 関連会社の金融機関からの借入金に対して次のとおり保証を行っております。 (株)レックス 272,650千円 また、西淡まちづくり(株)の中小企業高度化資金借入に係る当社取締役の兵庫県への連帯保証について次のとおり再保証をしております。 当社代表取締役 佐竹文彰 305,160千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年8月31日現在) 現金及び預金 1,363,725千円 預入期間が3か月超の定期預金 及び定期積金 612,000千円 現金及び現金同等物 751,725千円	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年8月31日現在) 現金及び預金 1,506,008千円 預入期間が3か月超の定期預金 及び定期積金 622,000千円 現金及び現金同等物 884,008千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月26日 定時株主総会	普通株式	25,116	3	平成23年2月28日	平成23年5月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の未日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月29日 定時株主総会	普通株式	24,868	3	平成24年2月29日	平成24年5月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

当社グループは、報告セグメントが小売事業のみであり、当社の業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」には、レストラン等が含まれております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	5円29銭	9円38銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	44,004	77,327
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	44,004	77,327
普通株式の期中平均株式数(株)	8,313,796	8,245,612

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年10月5日

株式会社 マルヨシセンター  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高 倉 康 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 久 保 誉 一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 越 智 慶 太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社マルヨシセンターの平成24年3月1日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年6月1日から平成24年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社マルヨシセンター及び連結子会社の平成24年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。